

2024年 6月28日(金) - 30日(日)
7月6日(土)・7日(日)

5日間、会期が離れていますのでご注意ください

12:00 - 19:00

Socio-1 (ソシオ-1) 銀行跡特設会場
入場無料

黒宮 菜菜 Nana Kuromiya
鋤柄 ふくみ Fukumi Sukigara

real SOU #13

「す」、「し」と「せ」のあいだ
"su", between "shi" and "se"

阪急茨木市駅に直結した駅前ビル「Socio(ソシオ)」を会場としたSOU・JR総持寺駅アートプロジェクトの実作品を紹介する
展覧会を開催いたします。
SOUで大型プリントとして紹介した作品の本物の魅力を紹介し、SOUで紹介の作品とともに各作家の周辺作品も合わせて展
示いたします。
使用する展示会場には、1970年の大阪万博に合わせて開業した商業施設内の現在は空き店舗となった銀行跡を使用します。
空き店舗のスペースを会場として、50数年を越えた街のグランド・シジョンとアートのあり方と、空き店舗や空き家の活用・再
生を考える包括した試みとなります。
会場内には日替わりカフェを併設して出会いと交流の場を提供します。また作家を招き、創作の内側に迫るトークイベントも
開催し、より作品と作家に深く触れていただきます。

EVENTS

ワークショップ展示

2024年6月に茨木市立三島小学校で開催された、作家・黒宮菜菜さんのワークショップ
の成果物を展示します

トークイベント！創作の内側（私）と外側（世）のあいだ

2024年6月29日（土）15:00～ real SOU 会場内、予約不要、ワンドリンク制
展示作家の黒宮菜菜さんと鋤柄ふくみさんを迎え、作家の持つ独自の表現と技法、
その経緯についてお話を伺います

日替わりカフェ

real SOU の作品展示会場内に個性豊かな出張カフェがOPEN！
6/28 手伎珈琲、6/29 Art Space & Cafe Barrack、6/30 茨木ラマン、7/6 LOGOS COFFEE、7/7 きみともカレー

ドリンクプレゼント！SOUとreal SOUを巡って

自分と一緒に写る、SOU13（JR総持寺駅の展示）の写真を提示すると、real SOU #13
会場内の日替わりカフェでドリンクをもらえるプレゼント！

※ ドリンクプレゼントは、会期中お一人一回限りとなります
※ ドリンクプレゼントは専用のメニューからお選びいただけます
※ 各日、数に限りがあります

ライブ | km: (ケー・エム・コロム)

2024年6月28日（金）18:00～ 展示会場内
アンビエントミュージシャン km: によるインプロビゼーション（即興音楽）
※ 予約不要、無料

※ 予定は変更になる場合があります。最新の情報はOne Art Projectのインスタグラムでお知らせいたします。



@ one_art_project
最新の情報はこちらから



Socio-1 (ソシオ-1) 銀行跡特設会場

〒567-0816 大阪府茨木市永代町5番 阪急茨木市駅より徒歩 17 分
※会場に無料駐車場はありません（お近くの市営駐車場、コインパーキングをお使いください）

主催 | One Art Project 協賛 | 阪急茨木市駅前ソシオ管理組合 協力 | Gallery Nomart Art Space & Cafe Barrack 後援 | 茨木市観光協会 助成 | 茨木市文化振興財団活動発展助成対象事業



SOU JR総持寺駅アートプロジェクト

SOU（ソウ）ー JR 総持寺駅アートプロジェクトは、2018 年 3 月 JR 総持寺駅開業とともに、生活の中でアートに出会う環境をつくり、アートを知るきっかけの場になればという思いから立ち上げられました。高さ 2.6m の自由通路壁面に、有名・無名、地域・年齢に関わらず様々な作家の作品を大型プリントにして展示し、絵画や写真、現代アートなど多様な作品を紹介します。展示は約半年ごとに入れ替えを行い、継続するアートプロジェクトを目指します。

「す」、「し」と「せ」のあいだ

私たちが生きる世界には様々な相対性とその関係があります。その相対性はある時に隔たりを生み出します。物理的な隔たりや、観念的な隔たり、人の心情的なものから生まれた隔たりなど。私たちはそれら様々な関係をめぐり、想いを馳せ、イメージを膨らませます。そして時には抵抗し、時には戦います。しかし、こちら、あちら、じつはその間に私たちは存在するのではないのでしょうか。

例えば、死と生、私と世。「し」と「せ」。

黒宮菜葉と鋤柄ふくみのふたりの作家は、「その間」を独自の眼差しによって観察し、探り続けます。その関係をつなぐこと、越えること。「その間」は人の想像だけでは及ばない何かを感じさせてくれます。それは同時に、こちらと向こうの存在をより意識させ、私たちが今ここに

いることを改めて教えてくれます。

作家が描くひと筆は「し」と「せ」の間にある「す」に触れることなのです。



Holding a bird #6 / 鳥を抱く #6
木製パネル、綿布、ジェッソ、油絵具、蜜蝋、葦（アシ）、ヒカゲノカズラ、ケイトウ
74 × 94 × 5.5 cm, 2023 年制作



私の畑
キャンバス、油絵具
72.7 × 91 cm, 2018 - 2023 年制作

黒宮 菜葉（くろみやなな・1980 年生）

- 主な個展
- 2019 年「ARKO 2019 黒宮菜葉」大原美術館（岡山）
 - 「Boys」FINCH ARTS（京都）
 - 2021 年「ウツシキ アヲヒトクサ」京都場（京都）
 - 2023 年「たまのうつつ」ギャラリーノマル（大阪）
 - 「たましいのかたち」A-LAB（兵庫）
- 主なグループ展
- 2017 年「のっぴきならない遊動：黒宮菜葉／二藤建人／若木くるみ」京都芸術センター
 - 2018 年「第 21 回岡本太郎現代芸術賞展」川崎市岡本太郎美術館（神奈川）
 - 2020 年「VOCA 展 2020 現代美術の展望-新しい平面の作家たち-」上野の森美術館（東京）
 - 2022 年「Since 1989 NOMART-アーティスト × 工房展-」銀座蔦谷書店 GINZA ATRIUM（東京）
 - 2023 年「Espace Virtuel」YOD TOKYO（東京）
 - 2024 年「飯田美穂・石井海音・黒宮菜葉 The Three Graces」三越コンテンポラリーギャラリー（東京）

鋤柄 ふくみ（すきがらふくみ・1982 年生）

- 2007 年 愛知県立芸術大学大学院油画専攻修了
- 主な個展
- 2010 年「はだか」白土舎（愛知）
 - 2014 年「生活」masayoshi suzuki gallery（愛知）
 - 2018 年「穴」masayoshi suzuki gallery（愛知）／野方の空白（東京）
 - 2023 年「風景」Art Space & Cafe Barrack（愛知）
- 主なグループ展
- 2005 年「絵の回路」（以降 2006-2012 年）（愛知）
 - 2008 年「drawings 考える手」名古屋市民ギャラリー矢田（愛知）
 - 2013 年「であ しゅとうるむ」名古屋市民ギャラリー矢田（愛知）
 - 2014 年「パーブルーム大学」山下ビル（愛知県）
 - 2015 年「VOCA 展 2015」上野の森美術館（東京）

「SOU」のほんもの作品展 real SOU #13

「す」、「し」と「せ」のあいだ "su", between "shi" and "se"

黒宮 菜葉 Nana Kuromiya 鋤柄 ふくみ Fukumi Sukigara

2024 年 6 月 28 日（金）ー 30 日（日）・7 月 6 日（土）・7 日（日）
12:00 - 19:00 Socio-1（ソシオ・1）銀行跡特設会場 入場無料
5 日間 会期が離れていますのでご注意ください